

シンリンオオカミ

学名 Canis lupus ssp.

英名 Timber Wolf

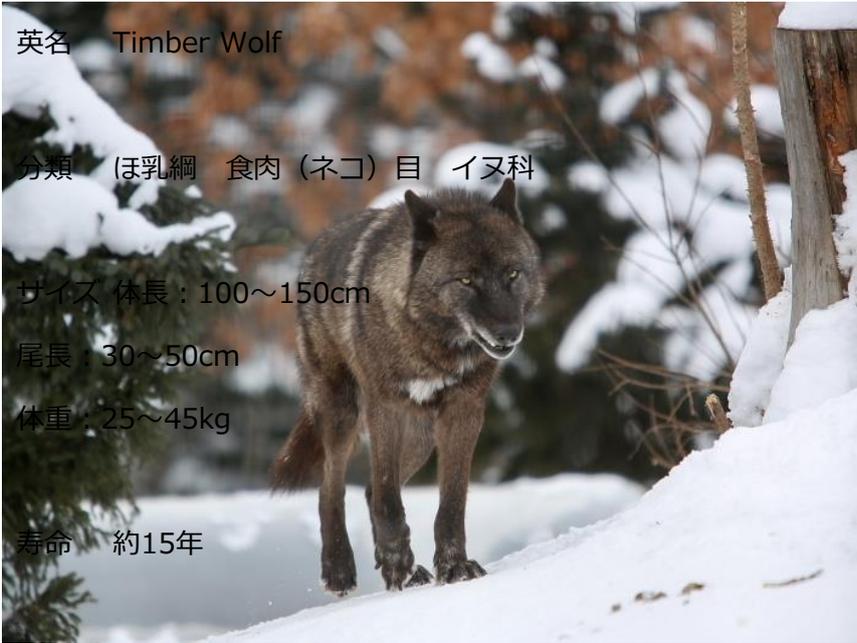
分類 ほ乳綱 食肉(ネコ)目 イヌ科

サイズ 体長：100～150cm

尾長：30～50cm

体重：25～45kg

寿命 約15年



展示場所 オオカミの森

毛の色は、灰褐色から白っぽいものまでいます。現在当園で飼育しているシンリンオオカミも灰褐色と白っぽい毛の個体があります。

オオカミは、群れ（パック）を作り、群れは雌雄別の順位制を伴っており、最上位雌雄がペアとなります。通常群れは、雌雄のペアとその子どもたちで構成されます。繁殖して生まれた赤ちゃんは、群れの子どもたちも協力して赤ちゃんを育てていきます。

オオカミの森では、オオカミたちが走り回る様子であったり、水浴びをしている様子、そして木陰で休む様子など様々な角度から観察することができます。オオカミの森に入ったら、まずどこにオオカミがいるのか探してみてください！

ワオキツネザル

動物の解説

学名

Lemur catte

英名

Ring-tailed Lemur

分類

霊長類（サル）目 キツネザル科

サイズ

頭胴長：39～46cm

尾長：56～63cm
体重：2.3～3.5kg

寿命

約15年（絶滅危惧種）



生息地

マダガスカル島の南部

ワオキツネザルはサルの仲間でも原始的なサルであり、体温調節機能が十分に発達していません。それで、1日のはじまりは、座ったまま両腕を広げ、朝日をたっぷり浴び体温を上げてから行動します。

旭山動物園のワオキツネザルは、太陽の日差しが強いときには、両手を広げ日なたぼっこをしています。その顔はとても気持ちの良さそうな顔をしています。

一言感想 ワオキツネザルは以前動物園でみたことがあったのですが、改めて調べてみると色々なワオキツネザルの特色が見つかりました。

アオダイショウ

動物の解説



学名 *Elaphe climacophora*

英名 *Japanese Rat Snake*

分類 は虫綱 有鱗目 ヘビ亜目 ヘビ科

サイズ 体長：1～2m

体重：400～600g

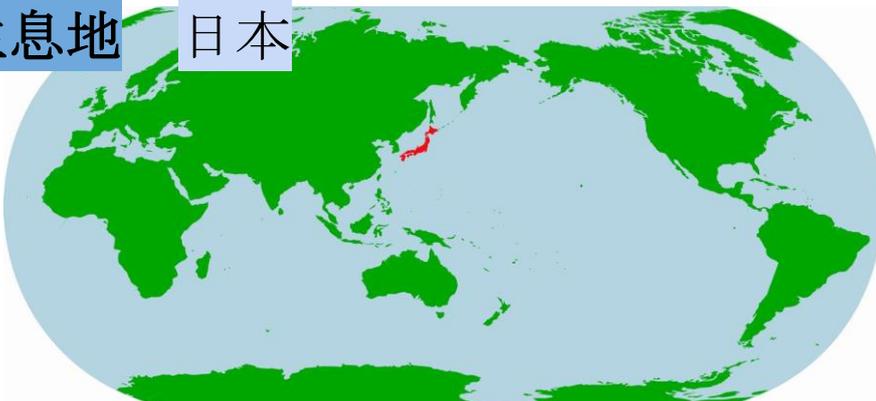
寿命 約20年

展示場所 両生類・は虫類舎

北海道で最もよく見られるヘビです。無毒で性格はおとなしいですが、つかまれたり、つつかれたりすると、嫌なおいをだします。平地から低山地の森林、草原、水辺、農耕地に住んでいます。基本的には樹上性ですが、地表にもよく降りてきます。また、枝のない垂直な木にも登ることができ、電柱などにも登ることがあります。

旭山動物園では、人の頭の上を通る姿や休んでいる姿などを観察することができます。

生息地 日本





銀灰色の体に黒と白のゴマ模様が点々としているのが特徴です。流氷と共に、オホーツク海を南下し北海道にやってきて、流氷の上で出産します。流氷が

学名 *Phoca largha*

英名 Spotted Seal
分類 ほ乳綱 食肉 (ネコ) 目
アザラシ科
サイズ 体長：160～170cm

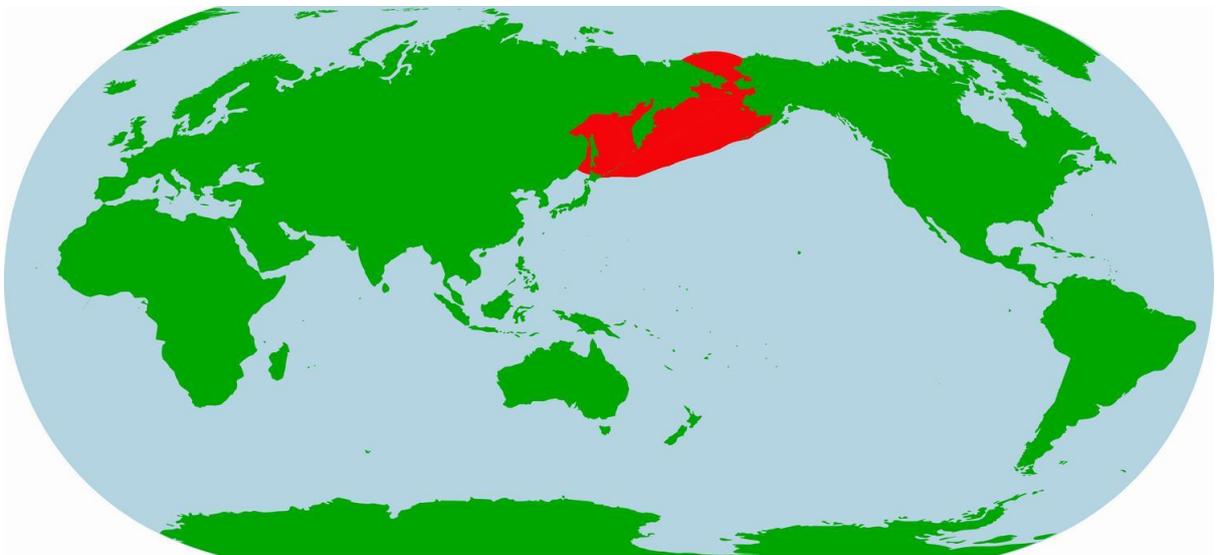
体重：約100kg 寿命 25～30年

展示場所[あざらし館](#)

ているかもしれませんよ。去る3月ぐらいに北へ帰ります。

あざらし館では、アザラシたちが気持ちよく泳ぐ姿を、水中から見るすることができます。好奇心がとても強いので、マリンウェイ（円柱水槽）を通るときは、いろいろなものを見ながら泳いでいます。アザラシたちが泳いでいるときの目に注目です！ひよっとしたらみなさんを見

学名 *Phoca largha* 英名



オホーツク海、ベーリング海、北海道近海

これを調べゴマフアザラシのことが少しわかりました

シセンレッサーパンダ

動物の解説

学名 *Ailurus fulgens styani*

英名 Lesser Panda

分類 ほ乳綱 食肉(ネコ)目 アライグマ科

サイズ 体長：50～60cm

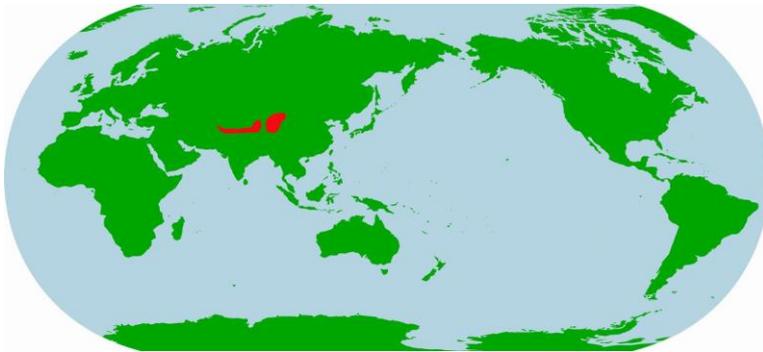
尾長：30～50cm

体重：3.0～4.0kg

寿命 約14年

展示場所 レッサーパンダ舎 **動物の解説**

生息地



中国西部 ヒマラヤ山脈チベット側標高1800～4000m

感想

私はレッサーパンダの寿命が 約14年いがいと短くてびっくりしました。

アライグマ

動物の解説

学名

Procyon lotor

英名

Common Raccoon

分類

ほ乳綱 食肉(ネコ)目 アライグマ科

サイズ

体長：約55cm

尾長：約25cm

体重：5.0～8.0kg

寿命

約10年北アメリカ

灰褐色の体毛をもち、目のまわりから頬にかけて黒い帯状の斑紋があります。長いふさふさとした尾には黒い横じまがあります。アライグマは北アメリカ原産で、日本には生息していませんでした。しかし、近年ペットとして飼われていたアライグマが捨てられたり、逃亡したものが野生化しはじめ、個体数が増加し、農作物被害や野生在来種への脅威が増大しています。アライグマの器用な手足に注目です。細い柵などにしっかりつかまりながら逆さになって移動したり、垂直な木に登ったりと、移動手段は様々です。そんな運動能力の高さを感じてください。

感想 アライグマは身長が55センチもある





エゾクロテン

ページID 059047 

動物の解説

Ma学名

rtes zibellina brachyura

英名

Sable

分類

ほ乳綱食肉（ネコ）目イタチ科

サイズ

頭胴長：35～56cm

尾長：11～19cm

体重：0.7～1.8kg

寿命

約15年（飼育下）

展示場所

生息地

北海道産動物舎では、樹洞をイメージした木を設置しています。そこには小窓がついています。放飼場で姿が見られないときは、そっと小窓をのぞいてみてください

夏毛は、顔と首辺りが黄褐色で、他の部分は焦げ茶色になります。一方、毛は、全身クリーム色になります。このように季節によって姿を変える動物です

森林に生活しており、主に樹上で活動し、休むときは樹洞などを利用します。エゾクロテンの休んでいる姿を観察することができます



北極圏で最大の猛禽類で、他のフクロウとは異なり、日中に狩りをします。主に、レミング（ハタネズミに似たげっ歯類）やウサギなどの小型ほ乳類を食べますが、カモなどの鳥や魚を食べることもあります。

オスは名前の通り、ほぼ純白の羽毛がおおっていますが、メスと若鷄では白地に黒の斑紋があります。

冬になると、雪と同化してどこにシロフクロウがいるかわからないぐらいの真っ白な羽です。じっくりと観察をして探すのもひとつの楽しみです。

感想

うさぎなどを食べていてびっくりしました。



書式を変更: フォントの色: 自動

書式を変更: フォントの色: 自動



書式を変更: フォント: 9 pt

レッサーパンダは、茶色の体毛、四肢や腹は黒っぽく、顔には白い模様があり、尾には5〜7本ほどのリング状のしま模様があるのが特徴です。また、昼間は樹上で寝ていることが多いので、旭山動物園でも少し高い所に小屋を設置して、そこに寝ている姿が見られます。

レッサーパンダのマーキング（においづけ）を見たことがありますか？木などにお尻をこすり付けるといやりかたです。じっくり観察をするとその姿が見られます。

野生のレッサーパンダは5000頭程と数は少なくなっており、この原因は、開発による生息地の減少だと言われています。

レッサーパンダは、前足の親指側にある骨が指状の突起になっており、これを第6の指として使い、竹などを手で握るように持つことがあります。エサを食べている時、観察をすることができます。

アオダイショウ



動物の解説

学名

Elaphe climacophora

英名

Japanese Rat Snake

分類

は虫綱 有鱗目 ヘビ亜目

ヘビ科

サイズ

体長：1～2m

体重：400～600g約20年

寿命

約20年

生息地日本



北海道で最もよく見られるヘビです。無毒で性格はおとなしいですが、つかまれたり、つつかれたりすると、嫌なおいをだします。平地から低山地の森林、草原、水辺、農耕地に住んでいます。基本的には樹上性ですが、地表にもよく降りてきます。また、枝のない垂直な木にも登ることができ、電柱などにも登ることがあります。

旭山動物園では、人の頭の上を通る姿や休んでいる姿などを観察することができます。僕のは感想アオダイショウが2メートルも、のびるなんて知りませんでした。いきものはいろんなしゅるいがあっておもしろいと思いました。

ユキヒョウ

動物の解説

学名

Panthera uncia

英名

Snow Leopard

分類

ほ乳綱 食肉（ネコ）目 ネコ科

サイズ

体長：100～150cm

尾長：80～100cm

体重：35～55kg

寿命

約15年

展示場所

[もうじゅう館](#)



生息地

寒冷地に適したヒョウの仲間です。足の裏も毛でおおわれていて、雪や岩の上を移動するのに適しています。また、尾は太く、頭から胴体の長さほどあります。走る時にバランスをとったり、横たわった時に、体に巻きつけて寒さから身を守ります。

ユキヒョウの岩をかけあがる動きは見事です。そして、みなさんの頭の上でくつろぐ姿も見られ、そのときの足の裏も観察できます。肉球はもちろん、足の裏にも毛が生えていることが実感できます。



エゾユキウサギ

可愛いポイント

1, 耳が長い

2, 目が可愛い

3, しっぽが丸い



動物の解説

学名

Lepus timidus ainu

英名

Mountain Hare

分類

ほ乳綱ウサギ目ウサギ科

サイズ 頭胴長：50～58cm

体重：2.0～3.9kg

寿命 約10年

展示場所

[北海道産動物舎](#) [北海道小動物コーナー](#)



マヌルネコ

動物の解説

学名 *Felis manul*

英名 Pallas's cat

分類

ほ乳綱 食肉(ネコ)目 ネコ科

サイズ体長: 50~60cm

寿命約11~12年



生息地

シベリア南部から中国、イラン、アフガニスタン等の標高が高い草原や半漠

マヌルネコは一見するとイエネコの一品種にも見えますが、れっきとした野生のヤマネコの仲間です。「マヌル」という名前はモンゴルの言葉で「小型のヤマネコ」の意味があります。

耳が横について横長の変った顔をしています。これは岩陰から獲物を狙うときに、目立たないためと考えられています。足は速くないので、獲物を狙うときは「だるまさんがころんだ」のような動きで少しずつ近づきます。

野生ではマイナス50度にもなる厳しい環境に生息しているので、寒さに耐えるため、冬毛はとてもモコモコしています。

アムールトラ



解説

学名 *Panthera tigris altaica*

英名 Amur Tiger

分類 ほ乳綱 食肉 (ネコ) 目 ネコ科

サイズ 体長：240～270cm

尾長：100～120cm

重：100～300kg

寿命 15～20年

生息地

アムール川・ウスリー川流域

体

アムールトラは、トラの仲間でもっとも寒い地方にすみ、もっとも大きいトラになります。このような模様が美しく、大きなアムールトラは、自然破壊のために絶滅寸前であり、現在約400頭程しか野生ではいません。近年、保護活動が進み、徐々にですが、回復傾向にあります。

アムールトラのしま模様は、自分の体を隠すための模様です。あのきれいな模様は目立つと思われそうですが、実は、周りの草にまぎれてしまい、どこにいるかわからなくなります。旭山動物園でも夏になると、背の高い草が生えるので、ぜひしま模様の役割を体感してください。

感想

このトラが絶滅寸前
であることを知った。



他のヒョウの亜種と比べると大型で斑点も大きいです。この斑点は、人間の目から見るとあざやかですが、動物の目で見ると白黒でしか見えないので、木の葉に紛れて体を目立たなくさせる役割があるのです。

アムールヒョウは現在、野生では40頭前後しか確認されておらず、国際保護動物に指定されています。

アムールヒョウは高いところで落ち着きます。そのことから、もうじゅう館の施設では、みなさんの頭の上でくつろぐ姿が見られます。そのときには、なかなか見られない肉球を観察できます。

(赤ちゃんの頃)



ホワイトタイガー



大牟田市動物園のホワイトタイガー (2018/03/01) の記事画像

「ホワイトタイガー」

「ホワイトタイガー」は種ではなく、初めは「ベンガルトラの白変種」として発見されました。しかし、現在の「ホワイトタイガー」は、「きれい」ということで人間の好みで交雑を繰り返し、維持している動物で、野生動物ではありません。



→ **ベンガルトラ**
野生のトラの生息数の
およそ半数を占める亜種
Gajken (世界の動物)



← **ホワイトタイガー**
白い体毛、青色の眼
ピンク色の肉球が特徴
当園で飼育している
「ホワイティ」

ホワイトタイガーという種がないことを知った
(赤ちゃんの頃)



アムールトラ

動物の解説

学名 *Panthera tigris altaica*

英名 Amur Tiger

分類 ほ乳綱 食肉 (ネコ) 目 ネコ科

体長 : 240~270cm

尾長 : 100~120cm

体重 : 100~300kg

寿命 15~20年

生息地 アムール川・ウスリー川流域

アムールトラは、トラの仲間でもっとも寒い

地方にすみ、もっとも大きいトラになります。

このような模様が美しく、大きなアムールトラは、自然破壊のために絶滅寸前であり、現在約400頭程しか野生ではいません。近年、保護活動が進み、徐々にですが、回復傾向にあります。

アムールトラのしま模様は、自分の体を隠すための模様です。あのきれいな模様は目立つと思われそうですが、実は、周りの草にまぎれてしまい、どこにいるかわからなくなります。旭山動物園でも夏になると、背の高い草が生えるので、ぜひしま模様の役割を体感してください。



感想

トラの仲間でもっとも寒い地方に住むことを初めて知りました

ホッキョクグマ分類 体長：200～300cm

分類 ほ乳綱 食肉（ネコ）目 クマ科

体重：175～650kg 寿命約25～30年

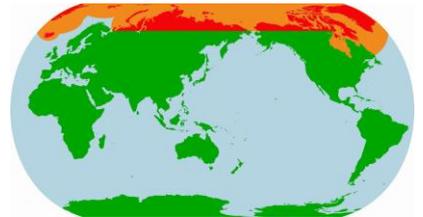


生息地

北極圏にホッキョクグマが住んでいます

ホッキョクグマは海洋性のクマで、他種のクマなどに比べて体が長く、泳ぐのに適しています。北極の氷はとげとげしているため、足の裏の保護の役割として毛が生えています。

また、すべり止め、低温から足を守るといった役割もあります。



食べ物

ホッキョクグマはアザラシを主食とするほか、魚類、鳥類やその卵、漂着したクジラの死体などを食べます

感想 好きだったのがもっと好きになった

ホッキョクグマの可愛い



マヌルネコ

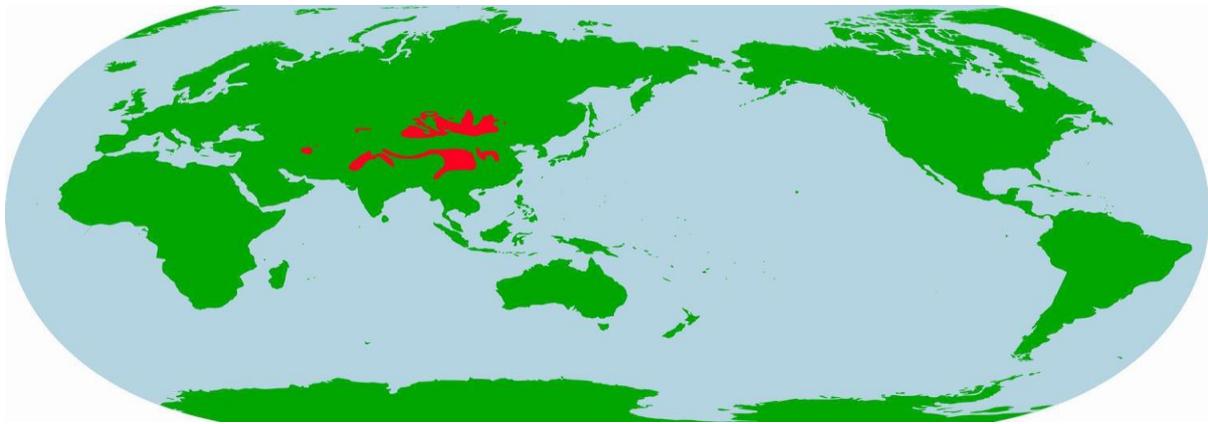


解説

学名 *Felis manul* 英名 Pallas's cat 分類 ほ乳綱 食肉 (ネコ)

目 ネコ科 サイズ 体長：50～60cm 寿命 約11～12年

生息地



シベリア南部から中国、イラン、アフガニスタン等の標高が高い草原や半砂漠

マヌルネコは一見するとイエネコの一品種にも見えますが、れっきとした野生のヤマネコの仲間です。「マヌル」という名前はモンゴルの言葉で「小型のヤマネコ」の意味があります。

耳が横について横長の変った顔をしています。これは岩陰から獲物を狙うときに、目立たないためと考えられています。足は速くないので、獲物を狙うときは「だるまさんがころんだ」の様な動きで少しずつ近づきます。

野生ではマイナス50度にもなる厳しい環境に生息しているので、寒さに耐えるため、冬毛はとてもモコモコしています。

カピバラ

学名 *Hydrochaeris hydrochaeris*

英名 Capybara

分類 ほ乳綱 げっ歯目 (ネズミ) 目 カピバラ科

サイズ 体長：106～134cm

体重：35～66kg 寿命 約10年

展示場所 くもざる・かびばら館



げっ歯目 (ネズミの仲間) の中で、カピバラは世界最大です。このカピバラという名前は、南アメリカのインディオのツピ族の使うグアラニー語からきていて、「草原の支配者」という意味です。

尾はなく、前足は後足より短く、前足の4本の指と後足3本の指には、小さい水かきがあり、上手に泳ぐことができます。また、水中では5分間もぐことができます。

見ているとほんとにぼ～っとしている動物です。見ているこちらが癒され、時間が止まっているような感覚になります。そんなカピバラの表情に注目してください。

調べてわかったこと

カピバラはあんなおっとりとした見た目なのに、ネズミ科の中で一番大きいということを知って調べていてびっくりしました。

秋田犬の かわいいところ！

ポイント1 子犬の頃もかわいい！ ポイント2 大きさがかわいい！



秋田犬は、柴犬とは大きさが全く違います。秋田犬の平均体高は、60～70cm、平均体重は、35kg～60kgで日本で唯一の大型犬です。 対して柴犬は、平均体高が35～40cm、平均体重は7～11kgで犬全体で見ると中型犬ですが、日本犬6種の中ではもっとも体が小さいのです。

ポイント3 秋田犬は種類が何種類もある！

秋田犬は種類（色）が4種類もあります。その種類とは、赤・虎・白・胡麻の4種類です。

赤↓ これがよく見る犬種！



虎↓ 確かに虎みたい！



白↓ 小さい狐みたい！



胡麻↓ 若干黒柴みたい？・・・

